

セレスポ

<http://www.cerespo.co.jp/>



©Satoshi TAKASAKI /JTU

受援新聞提供

株式会社セレスポ CERESPO CO.,LTD.  
〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5 TEL:03 (5974) 1111 / FAX:03 (5394) 7651



2018年8月発行

**CERESPO**  
CORPORATE REPORT 2018

# 経営理念



イベントを通じて  
笑顔のある明るい社会づくりに  
貢献する

## セレスポの幸福マンダラ



← ● = セレスポが寄与するもの  
→ ★ = セレスポが享受するもの

※1 ESP: イベント・ソリューション・パートナー/プレイヤー  
 ※2 CSR: コーポレート・ソーシャル・レスポンス(企業の社会的責任)  
 ※3 CSV: クリエイティング・シェアード・バリュー(経済的価値と社会的価値を同時実現する戦略)

私たちは「イベントを通じて笑顔のある明るい社会づくりに貢献する」という経営理念の実践に努めています。その際に重きを置くのが、周囲のステークホルダーへの貢献です。ステークホルダーとして、社会、株主、顧客、取引先、社員を意識しました。社員が楽しんで働くことがよい仕事につながり、それが周囲の幸福を実現し、その状況が自分たちの新たな幸せとして返ってくる。そんな「幸福の連鎖」を生み出すよう努力してまいります。

# セレスポの軌跡

(億円)  
150

## 私たちの仕事は、特別な日を創る事です

セレスポは創立以来、地道に業容を拡大しながら着実に成長してまいりました。今後もさらなる成長に向けて取り組んでまいります。

**2017年**  
第72回 国民体育大会  
愛顔(えがお)つなぐえひめ国体  
総合開・閉会式を受注



**2018年3月期**  
売上高実績  
**126億円**

**1993年～1998年**  
長野五輪関連イベント  
安全祈願祭を含めさまざまなイベントを受注



**2005年**  
愛・地球博  
数々のパビリオンの運営を受注



**2008年**  
第59回 全国植樹祭(秋田県)  
初めて行幸啓行事を元請受注



**1987年**  
第5回全国都市緑化フェア  
グリーンハーモニーさいたま'87  
大型官公庁案件の受注



**1994年4月**  
株式を店頭登録

**1996年3月期**  
決算期変更

**2004年12月**  
ジャスダック証券取引所に上場  
(現:東京証券取引所JASDAQ市場)

**2009年4月**  
中期経営計画Iスタート

**2015年3月期**  
売上高100億円突破

**1977年**  
三菱建設様地鎮祭  
セレスポの初イベント

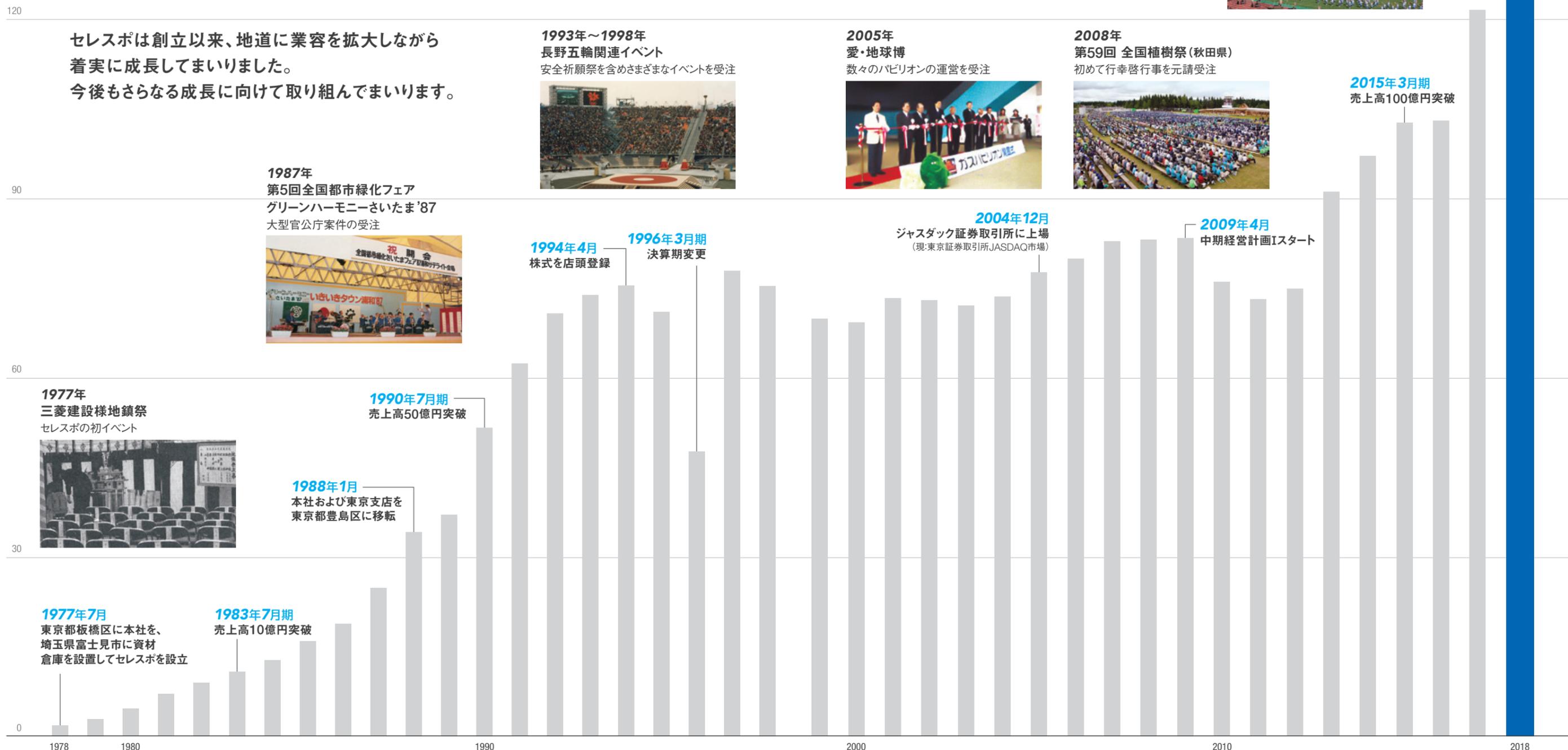


**1990年7月期**  
売上高50億円突破

**1988年1月**  
本社および東京支店を  
東京都豊島区に移転

**1977年7月**  
東京都板橋区に本社を、  
埼玉県富士見市に資材  
倉庫を設置してセレスポを設立

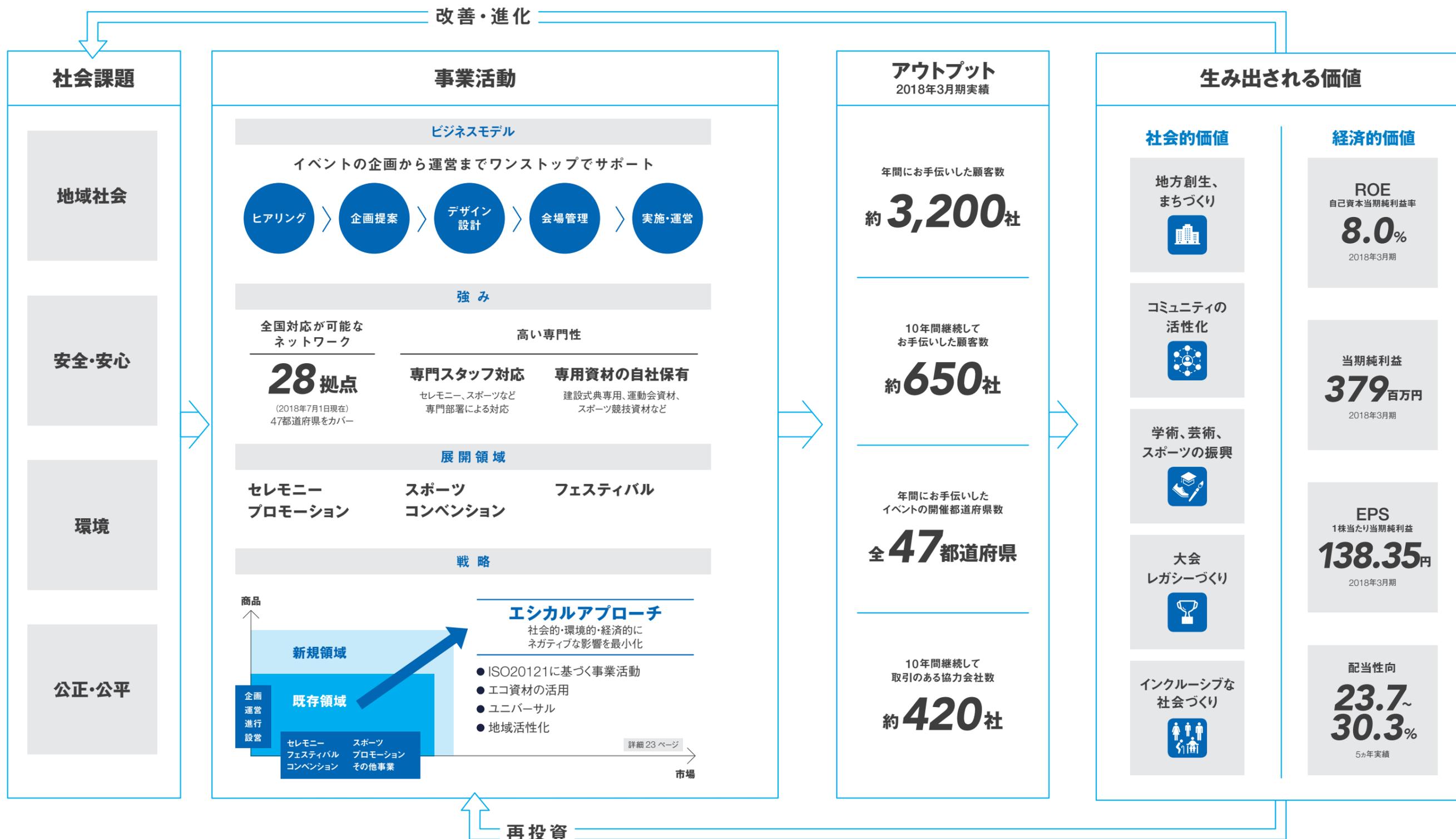
**1983年7月期**  
売上高10億円突破



# ビジネスモデルと価値創造

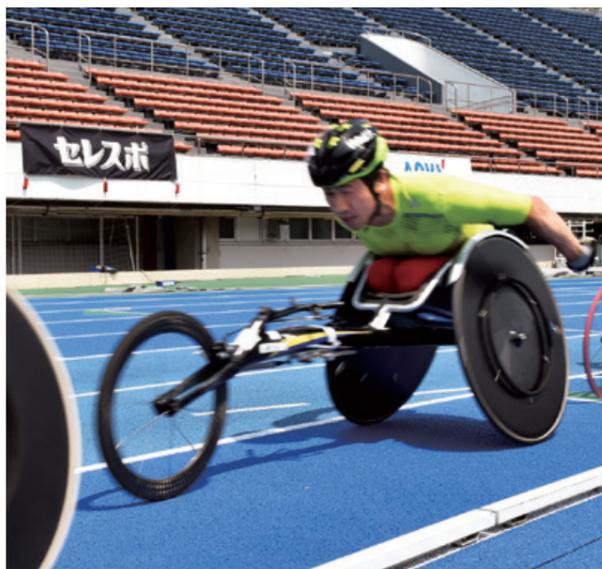
セレスポのビジネスモデルは、直接体験の場であるイベントを通じて顧客の目的実現に向けた課題の解決をワンストップでサポートしていくことにあります。経営理念である「セレスポの幸福」では「イベントを通じて自らを含む周囲の幸福を実現し、笑顔のある明るい社会づくりに貢献する」ことを掲げ、これを実現するためにセレスポを取り巻く社会・株主・顧客・取引先・社員などのステークホルダーと良好な互恵関係を築くことを全ての活動の起点としております。

今後も持続的な成長を可能とする企業として時代の求める変化に適応するために、経済的価値に加え、イベントを契機とする社会的価値の創出に努めることで、社会に信頼され、ステークホルダーと共に成長を続けられる「イベント・ソリューション・パートナー」を目指してまいります。





企業価値を伝える  
3つのポイント



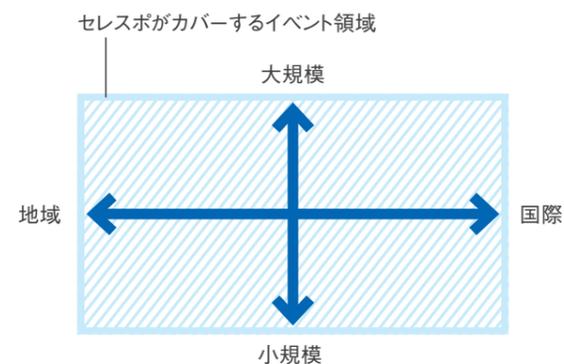
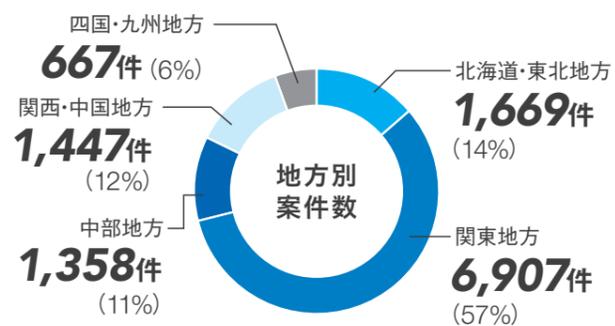
## 1 全国でイベントによる 価値創造

セレスポは、地域イベントから国際大会まで大小さまざまなイベントを通じた新たな価値創造にむけて、全国の主要都市に28拠点を展開しております。

年間にお手伝いした  
イベントの開催都道府県数

全 **47** 都道府県

拠点数 **28**



## 2 人材創造

セレスポは、より高い「顧客起点」と「現場力」の実践に向けて、イベントの安全管理から次世代の人材育成に取り組みながら、働きやすい環境づくりにも注力しております。

取り組み活動

### 1 教育・研修制度

セレスポは、職種や職層に応じた研修プログラムや外部の研修プログラムを活用し、社員自身の業務スケジュールに合わせて受講できる環境を整えております。

1人当たり  
年間研修参加回数 **4.2**回  
2018年3月期

### 2 ベストプラクティスの共有

セレスポは、社内発表会「イベント・ソリューション事例／共有発表会」を開催し、情報やノウハウ共有の活性化を進めると同時に、プレゼン力や提案力の向上を図っております。

社員からの  
事例応募件数 **116**件  
2018年3月期

### 3 出産後復職率

セレスポは、働きながら子育てを行う女性を支援する制度を導入しておりますが、休職中は復職後のために休職者への会社の情報を定期的に連絡するなどの支援でバックアップしています。復職後も安心して働ける職場づくりや男性の育児参加も推奨し、今後はより一層育児支援を積極的に行い、社員のキャリア形成実現に向けた環境を整えていきます。

出産後復職率 **100%**  
2013年から過去5年間

### 4 総労働時間削減

セレスポは、「社員の幸福」実現に向けて「効率の良い働き方」を浸透させるため、社員のワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでおります。

平均総労働時間  
削減率 **15%**減  
2013年3月期比

## 3 エシカルアプローチ

セレスポは、イベントを起点としてサステナビリティに取り組んでおります。私たちは、イベントの総合制作会社として、イベントを通じて社会貢献と環境価値の創出に取り組んでまいります。

ISO20121 認証取得



セレスポは、イベント分野においてサステナビリティに取り組むためのフレームとしてISO20121を活用しております。ISO20121はイベントに関するサステナビリティ(持続可能性)に取り組むことを目的とした国際標準規格で、ロンドンオリンピック・パラリンピック、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック、平昌オリンピック・パラリンピックに適用され、東京オリンピック・パラリンピックでも適用が計画されています。

詳細 23 ページ

研究所を中心した全社の取り組み

セレスポは、社内に設置した「サステナブルイベント研究所(2013年設立)」「ユニバーサルイベント研究所(1999年設立)」2つの研究機関を中心に、全社でイベントにおけるサステナビリティとアクセシビリティの向上に取り組んでおります。

サステナブルイベント研究所では、国際イベントでの対応力強化、国内イベントのレベルアップなどイベント制作に関わるさまざまな立場からサステナビリティ(持続可能性)について、ユニバーサルイベント研究所ではバリアフリーやユニバーサルデザインの考え方を取り入れたイベントのアクセシビリティの向上に向けた調査・研究・社員教育を行なっております。

社内関連セミナー参加社員数

**197**名  
(述べ人数)

民間関連資格検定合格社員数

**46**名  
(述べ人数)

## トップメッセージ



### 「セレスポの幸福」の 経営理念のもと、 継続企業を目指します

代表取締役社長 稲葉 利彦

## 中期経営計画Ⅳ 基本方針

継続企業の  
確立

最大収益の  
追求

レガシーの  
獲得

2024年に目指す姿

## イベント・ソリューション・パートナーの実現

顧客から信頼され、企画の早い段階から共に作業し、あらゆる段階における顧客の課題を解決して、イベントに期待される効果を実現する

### 「イベント・ソリューション・パートナー」の実現へ

セレスポは1977年の創立以来、地道に業容を拡大しながら着実に成長してきました。セレスポの2024年に目指す姿は、「イベント・ソリューション・パートナー」です。お客さまに寄り添い、課題を共有し、解決に向けて全力で取り組むことで、イベントに関わる人々の感動と笑顔を創り続けることを目指しています。経営理念である「セレスポの幸福」の考え方を実践し、持続的な成長が可能な企業となるよう取り組んでいきます。

### 7期連続の増収増益を達成

2018年3月期は順調な推移を経て7期連続の増収増益となり、売上高、最終利益ともに過去最高の水準となりました。期中に迎えた創立40周年のお祝いごとに花を添える結果となったのは喜ばしいことです。中でも、従来、苦手と言われていた第4四半期に数字を伸ばすことができたことは、今後の冬期ビジネスの開拓にもつながっていくと感じています。

増収増益を可能にした要因はいくつかあります。まずは、日々の現場において「顧客起点」や「現場力」などの実践を徹底したことが挙げられます。質のよい業務の提供がお客さまを

引き寄せた結果、実に全拠点の8割が予算を達成しました。増収増益のさらなる要因には、大型の案件が受注できたこともあります。2018年3月期は、えひめ国体の総合開・閉会式を受注したことで、各種競技場の運営業務と合わせて大きな数字を作ることができました。

この先には、セレスポにとって千載一遇のチャンスが待っています。私たちはビジネスとして最大収益を追求しますが、同時にサステナビリティやユニバーサルな考え方をイベントの中でかたちあるものにしていきたいと思えます。結果として「笑顔のある明るい社会づくり」に貢献できるならこれに勝る喜びはありません。

### 「中期経営計画Ⅳ」を策定

セレスポは「イベント・ソリューション・パートナー」の実現に向けた次の一歩として、2019年3月期よりはじまる3カ年を対象とした「中期経営計画Ⅳ」を策定しました。中期経営計画Ⅳでは、基本方針として、「継続企業の確立」「最大収益の追求」「レガシーの獲得」の3つの方針を掲げています。

#### 継続企業の確立：

セレスポがこの先も成長を続けていくためには、社会の変化

に適切していくとともに、規模の拡大に伴い高まっていく周囲からの期待やニーズに応えていく必要があります。経営理念である「セレスポの幸福」を実践することでこれらを満たすことができます。その上で、継続企業となるために必要な要素として「収益力、成長力、人材創造力、ブランド力、企業統治力」の水準を向上させていきます。

#### 最大収益の追求：

中期経営計画Ⅳは2020年度までとなりますので、ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック等、国際的にも大変注目されるイベントが含まれます。イベントそのものはもちろん、企業や自治体それぞれに行う関連行事も増えます。もちろん、従来行われてきたイベントもこれまで通り開催されます。これらの押し寄せるニーズに適切に対応していける企業力を身に付けながら、最大限の収益を上げていきます。

#### レガシーの獲得：

経営上の狙いは継続企業として持続的に成長可能な企業となることです。社会全体が熱気を帯びるこの期間に、活動の質・量ともに高めていくことで、2021年以降も共に成長していける顧客・パートナーとの関係を深め、社会に必要とされる

付加価値の高いスキルを身に付けていきます。

中期経営計画Ⅳの3年間はセレスポにとって大変な挑戦をしていくことになります。この期間に経験し、身に付けていくことは、この先何十年と成長を続けていくための基盤となります。これを成し遂げるために、全社一丸となって取り組んでいきます。

### 安定的な株主還元を実施

セレスポは、経営理念に基づき株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要政策の一つとして位置づけており、配当については、30%ほどの配当性向を目安として、安定的な配当を継続して行うことを基本方針としています。

その方針に則って、2018年3月期は1株当たり41円と6期連続の増配を実施することができました。また、新たな株主優待制度として、セレスポの理解にもつなげるよう、イベント制作会社らしい招待券を用意しました。

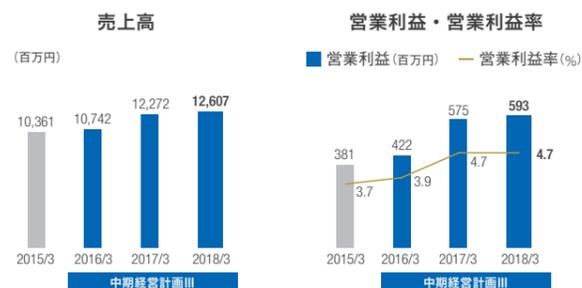
株主の皆さまには引き続き一層のご支援・ご鞭撻を賜りますとともに、今後のセレスポのさらなる成長と飛躍にご期待ください。

# 中期経営計画Ⅳ (2018年4月～2021年3月)

株式会社セレスポは1977年の創立以来、地道に業容を拡大しながら着実に成長してまいりました。中計Ⅳの3年間は、セレスポにとって大変な挑戦をしていくことになります。この期間に経験し、身に付けていくことは、この先何十年間と成長を続けていくための基盤となります。

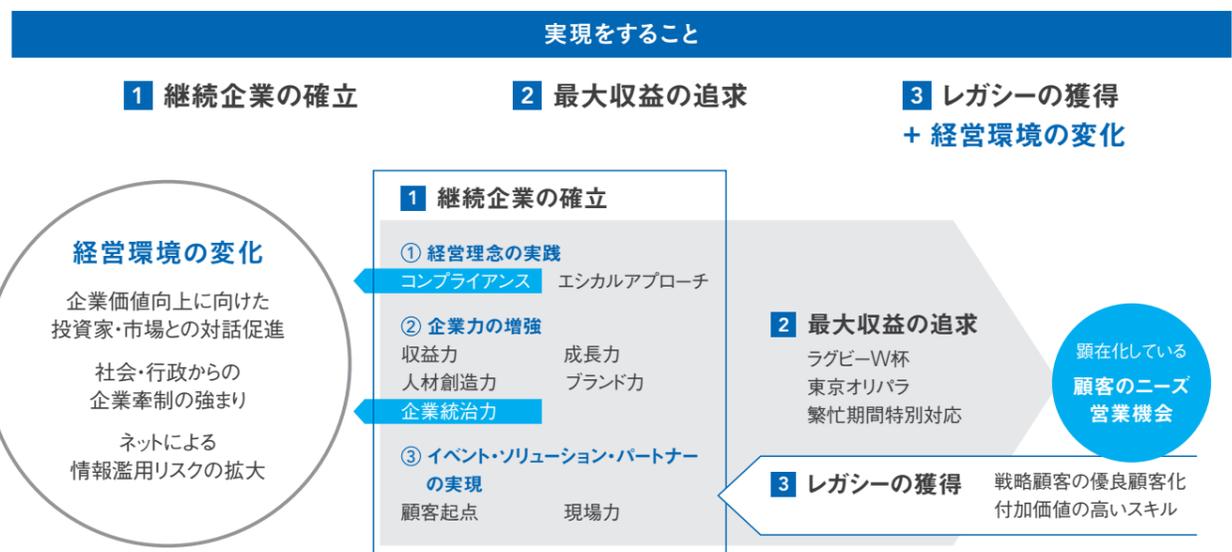
## 中期経営計画Ⅲ (2015年4月～2018年3月) の振り返り

中期経営計画Ⅲでは、①7期連続増収増益、②主要な業績指標が全て改善、③2018年3月期の価値ある増益を達成することができました。3カ年で売上高21%、営業利益55%向上、その他主要業績指標が全て改善することができました。特に、2018年3月期は、将来の発展に備えた基幹システムの刷新、営業拠点の開設や移転などの対応等の基盤整備を行いつつ、価値ある増益を達成することができました。



## 中期経営計画Ⅳの骨子

①継続企業の確立、②最大収益の追求、③レガシーの獲得の大きく3本の柱を建てています。それらを実現するための施策を展開し、売上高160億円、営業利益8億円の業績目標並びに「安定配当」を基本とした株主還元方針(配当性向25-30%)を達成してまいります。



業績目標	中期経営計画Ⅲ	中期経営計画Ⅳ	増減額	増減率
売上高(百万円)	12,607	16,000	3,393	26.9%
営業利益(百万円)	593	800	207	34.9%
売上高営業利益率(%)	4.7	5.0	0.3pt	
当期純利益(百万円)	379	500	121	31.9%
自己資本当期利益率(ROE)(%)	8.0	9.5	1.5pt	
1株当たり当期純利益(EPS)(円)	138.35	182.46	44.11	31.9%

## 中期経営計画Ⅳの詳細

### 1 継続企業の確立

経営理念である「セレスポの幸福」を实践し継続企業となるために必要な要素として「収益力、成長力、人材創造力、ブランド力、企業統治力」の水準を向上させていきます。

収益力		成長力			
		基本事業	スポーツ事業	競争事業	戦略事業
顧客起点の発想と現場力の発揮	顧客起点	特命受注や適価での取引が増加する			
	現場力	全ての案件において、顧客を魅了する			
利益創造	優良顧客の拡大	全拠点の優良顧客数が増加している			
	大型案件への参画	各地域のシンボルイベント*を手掛ける			
	営業力の強化	企画力が向上している			
	生産性の向上	管理・制作業務の効率化・省力化が進んでいる			
顧客創造	適価の実現	低粗利案件が減少している			
	戦略顧客から優良顧客へ	優良顧客の売上構成比率が50%以上になっている			

\*シンボルイベント：各地域を代表する、地域内外へ強い影響力を持つイベント

人材創造力		ブランド力	企業統治力
健康経営	健康マイレージ制度の導入	基本価値の向上	コーポレートガバナンス・コード 基本5原則・30原則・38補充原則への対応
労働時間革命	残業時間の削減 会議の効率化、書類提出物の見直し フレックス・インターバル勤務の導入検討 代休取得奨励施策の導入	経営理念の徹底 顧客起点と現場力の推進 CSRとCSVの取り組み 市場替えの検討	内部統制 組織の効率運用のためのガバナンス整備とコンプライアンスの徹底
働き方改革	働き方選択コースの導入検討 業務ごとの評価項目の整理 中計Ⅳと連動する制度の検討 同一労働同一賃金への配慮	情報価値の向上	ステークホルダーの声への傾聴 株主、顧客、取引先、社会、社員
	シニア社員の活躍 役割の検討 働き方選択コースに連動する制度の見直し	外部との積極的な交流継続 経団連、JACE、競技団体など メディア露出の増加 オリパラ、スポーツイメージの向上 IR施策の推進 会社説明会の継続開催、ネットの活用	
	地域限定社員の活性化 制度と評価基準の見直し 働き方選択コースに連動する制度の見直し		
	障がい者法定雇用率の順守 受け入れ部署拡大 パラアスリート雇用の検討		

### 2 最大収益の追求

中期経営計画Ⅳの期間にはラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック等、国際的にも大変注目されるイベントが含まれます。ゴールデン・スポーツ・イヤーズはセレスポにとって、千載一遇の成長機会です。押し寄せるニーズに適切に対応していただける企業力を身に付けながら、最大限の収益を上げていきます。

### 3 レガシーの獲得

経営上の狙いは継続企業として持続的に成長可能な企業になることです。社会全体が熱気を帯びるこの期間に、優良顧客とのパイプを太くし接点を増やす、国際大会の運営スキルを獲得する、特にサステナビリティとユニバーサルの実践度合いを上げる等、活動の質・量ともに高めていくことで、2021年以降も共に成長していただける顧客・パートナーとの関係を深め、社会に必要とされる付加価値の高いスキルを身に付けていきます。

優良顧客化		
ターゲット	目標	
競技団体	観戦者数の多い競技イベント性の高い競技年間を通じて大会が開催される競技	新たな取り組みへつなげる
自治体	2021年以降も安定した取引のできる自治体	コンサルタント業務へのステップアップ
スポンサー	大規模イベントのスポンサー企業	複数イベント分野への水平展開
広告代理店	大手広告代理店	複数イベント分野への水平展開

**新たな活動領域**

オリンピック、アスリートとの取り組み

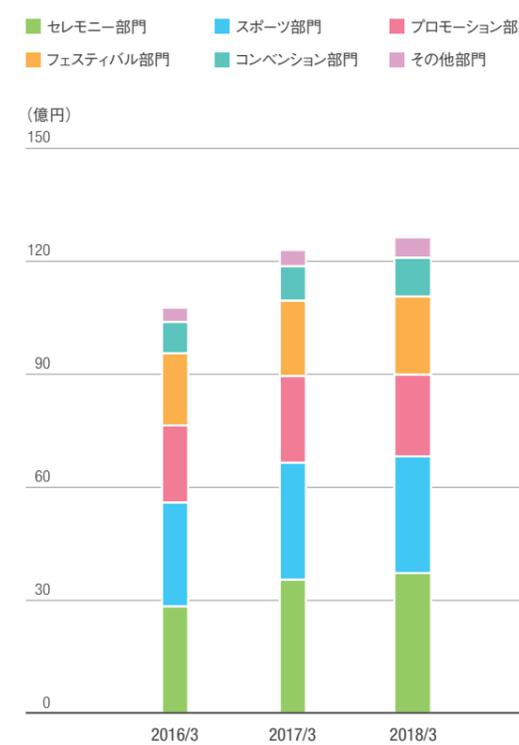
スポーツ関連イベントの主催、地方リーグへの参画

スポーツ成長産業化に関する取り組み

# 事業概況

事業概要	業績変動要因	当期の業績	構成比	売上高
 <p>2017世界トライアスロンシリーズ横浜大会</p>	<p><b>セレモニー部門</b> 創業事業でもある建設式典をはじめ、皇室ご臨席行事など、さまざまな式典をサポート。</p>	<p>インフラ整備・都市開発等の動向。 皇室ご臨席行事の受注動向。</p>	<p>愛顔つなぐえひめ国体開・閉会式の受注と、民間企業や学校の周年記念式典などの大型案件の増加や、建設式典の案件単価が向上したことで、売上高は3,697百万円と前期比5.1%の増収となりました。</p>	<p>売上高構成比 <b>29.3%</b></p> <p><b>36億97百万円</b> (前期比5.1%増↑)</p>
 <p>ベルギービールウィークエンド2017</p>	<p><b>スポーツ部門</b> 運動会や市民参加型のスポーツイベントをはじめ、国際競技大会や国民体育大会など、さまざまな規模の大会運営をサポート。</p>	<p>2019年、2020年の国際競技大会における大会運営に関する受注動向。</p>	<p>愛顔つなぐえひめ国体や、その他の競技大会案件が増加しましたが、大型競技大会の金額が減少したため、売上高は3,096百万円と前期比0.4%の減収となりました。</p>	<p>売上高構成比 <b>24.6%</b></p> <p><b>30億96百万円</b> (前期比0.4%減↓)</p>
 <p>©にっぽんど真ん中祭り</p>	<p><b>プロモーション部門</b> 全国キャラバンイベントから展示会まで、幅広い範囲でお客さまの販促コミュニケーションをサポート。</p>	<p>国際競技大会の広報・PR、クロスメディア販促戦略におけるイベントの動向。</p>	<p>広告宣伝・販売促進案件が減少したものの、展示会やオリンピック・パラリンピックなどの広報・PRに関する案件が牽引したことで、売上高は2,171百万円と前期比8.5%の増収となりました。</p>	<p>売上高構成比 <b>17.2%</b></p> <p><b>21億71百万円</b> (前期比8.5%増↑)</p>
 <p>第18回慶應科学技術展 (KEIO TECHNO-MALL 2017)</p>	<p><b>フェスティバル部門</b> 市民祭や文化イベントなど地域の産業や文化の振興を目的としたイベントをはじめ、レクリエーションなど、さまざまな催事をサポート。</p>	<p>地方創生に基づいた地域活性化や、インバウンド観光振興の動向</p>	<p>定例開催案件の金額は平均的でしたが、周年記念事業や不定期開催の案件が減少したため、売上高は2,071百万円と前期比9.9%の減収となりました。</p>	<p>売上高構成比 <b>16.4%</b></p> <p><b>20億71百万円</b> (前期比9.9%減↓)</p>
	<p><b>コンベンション部門</b> セミナーや株主総会など、さまざまな規模や形式の会議イベントをサポート。</p>	<p>MICE誘致の動向。 2019年、2020年の展示会場問題の動向。</p>	<p>民間企業や学校関係の定期開催案件の規模が拡大し、また、新規の展示会等の大型案件が増加したことで、売上高は1,029百万円と前期比12.9%の増収となりました。</p>	<p>売上高構成比 <b>8.2%</b></p> <p><b>10億29百万円</b> (前期比12.9%増↑)</p>
<p><b>その他部門</b> 防災訓練や選挙など、上記分野以外のさまざまなイベントをサポート。</p>	<p>自然災害や、さまざまな危機管理に関する動向。 政治の動向。</p>	<p>九都県市合同防災訓練の受注と、衆議院議員選挙や各地域の市長選挙などの選挙関連案件が増加したことで、売上高は540百万円と前期比24.9%の増収となりました。</p>	<p>売上高構成比 <b>4.3%</b></p> <p><b>5億40百万円</b> (前期比24.9%増↑)</p>	

## 部門別売上高



2015年度と当期を比較すると全ての部門で向上。主にセレモニー部門は建設式典と皇室ご臨席行事の案件単価の向上によって31.1%の上昇。スポーツ部門は国体の案件単価の上昇や、トライアスロン等の競技大会が増加したことによって12.3%の上昇。

# 幅広い業務への対応力



## NTT ASTCトライアスロン アジアカップ(2017/大阪城) / 大阪城トライアスロン2017

2017年6月、大阪でトライアスロンの国際大会が開催されました。この大会は、第1回目の開催で公道を使うほか、スイムコースが大阪城のお堀だったこともあり、メディアにも注目いただき6万5千人の方が応援に駆けつけました。この大会も横浜大会と同様に選手や観衆はもちろん、地域住民、観光客、大阪城公園の利用者への安全確保が重要となりましたが、これまでの横浜大会での経験を生かすことで大きな事故やケガなどもなく、安全に終わることができました。

さらに、競技の魅力を伝えるだけではなくイベントとして楽しんでいたように、大阪のグルメはもちろん最新アイテムのサンプリングや、トライアスロングッズの販売などが行われるEXPOコーナーも開催し、トライアスロンファンだけではなく家族での観戦者も一日を一緒に楽しめる企画も提案させていただきました。

この様にスポーツイベントのノウハウに加えて、セレモニーやフェスティバル、プロモーション、コンベンションなどさまざまなイベントで得た経験や実績、ノウハウを基にした企画提案を全てのイベントにおいてご提案させていただいております。

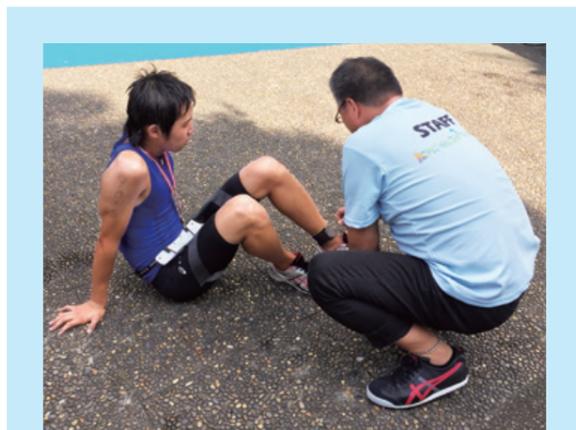
## 2017ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会

「2017ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会」は、2017年5月に、山下公園(神奈川県横浜市)周辺特設会場で開催されました。世界トライアスロンシリーズは、年間シリーズ化されている世界最高峰の大会で世界のトップアスリートが参加し、今大会も沿道の応援を含め約30万5千人の観衆が集まりました。

セレスポは、2009年から横浜市で開催されている同シリーズを2011年からサポートしております。

同大会は横浜港に特設されたポンツーンと呼ばれるスタート地点からはじまるスイムコース、山下公園や赤レンガ倉庫など横浜を代表する市街地を規制して使用するバイク、ランコースという構成のため、選手や観衆、通行人などに対する最大限の安全が求められます。

セレスポでは、当日の安全管理はもちろん会場設営時から最後の撤去が終わるまでさまざまな角度からリスクを想定し、企画の段階からお客さまや関係者の方々と一緒に対策を施し、安全・安心の確保を徹底し、選手が最高のパフォーマンスを発揮できる環境づくりをサポートしております。また国際大会ならではのプロトコルや運営が求められ、さらなる経験の蓄積の機会になっております。



### キッズ育成、ボランティア参加紹介

未来のトライアスリートを支えることを目的に開催されている大会の支援に加えて、社員自ら運営ボランティアとして参加しています。企業としてスポーツ振興に取り組む姿を示すと共に、スポーツを“支える”ことを通じて社員の社会への参画意識の向上を目的としています。

### スポンサーシップ(2018年7月現在)

セレスポは、イベントを通じて、笑顔のある明るい社会づくりに貢献するために、右記団体とのスポンサーシップを結び、さまざまな活動に取り組んでいます。選手や関係者が競技に集中できる環境の提供や、よりファンの方々に楽しんでもいただける大会の開催、より多くの方にスポーツの魅力を伝えるために各団体と協力し合い、スポーツ振興に尽力してまいります。



# 大規模イベントにおける対応力



愛媛新聞提供

## 第72回 国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」総合開・閉会式

2017年9月30日～10月10日、第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」が開催され、9月30日に愛媛県総合運動公園陸上競技場において天皇后両陛下のご臨席のもと総合開会式が行われました。セレスポは、総合開会式・閉会式に加えて数多くの各種競技にもご協力をさせていただきました。毎年開催される国民体育大会は開催の約9年前から自治体による計画がはじまり、その後の実行委員会の起ち上げ、企画、会場設計、準備製作、会場設営を経てようやく当日を迎えます。セレスポは、最初の計画段階から参画させていただき、総勢35名からなる社内プロジェクトを結成し、一丸となり大会をサポートさせていただきました。これまで関わらせていただいた開・閉会式は近年においては7年間で6回になり、天皇后両陛下がご臨席される全国植樹祭などの行幸啓行事の経験を基に、大会の成功に貢献させていただいております。また、日本スポーツ協会さまと協力し、国体のファン拡大や開催地以外の盛り上がりに向けたWebサイトやスポンサー看板の設置業務などプロモーションにもご協力させていただきました。

※2019年に開催される、いばらき国体においては、国体パートナーとして国体のサポートを行っています。

### これまでに受注した国体・大会の開・閉会式

- 2021 三重とこわか国体・とこわか大会  
基本計画
- 2019 いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会  
基本計画／基本設計／実施設計
- 2017 愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会  
基本設計／実施設計／整備業務
- 2016 希望郷いわて国体・いわて大会  
基本設計／実施設計／整備業務
- 2015 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会  
実施設計
- 2014 長崎がんばらんば国体・がんばらんば大会  
基本設計／実施設計／整備業務
- 2012 ぎふ清流国体・ぎふ清流大会  
実施設計／整備業務
- 2011 おいでませ! 山口国体・山口大会  
整備業務



## 各種競技会場

第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」および第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔つなぐえひめ大会」では、各種競技の会場設営や運営にもご協力させていただきました。国体では9市町21競技会場、大会では全15競技会場を担当しました。それぞれの種目や競技の特性、会場の特長に合わせた事前のご提案や現地での対応を行うとともに、セレスポの高松支店、地元の協力会社さまをはじめとする数多くのご協力者さまや全国のネットワークを用いることで、効率よくすべての競技種目を無事に終えることができました。これからも国体・大会における実績や陸上競技、マラソン、トライアスロン、ハンドボール、バレーボール、ソフトボール、ボート競技など数々のスポーツイベントの経験やノウハウを生かすことで、選手が競技に集中できる環境の提供とともに、主催者さま、開催地域の活性化など幅広いサポートに貢献しながら、スポーツ界のさらなる発展とスポーツ振興にも寄与してまいります。

	茨城	福井	愛媛	岩手	和歌山	長崎	東京	岐阜	山口
実施設計業務 競技数	31	13	28	17	29	20	17	25	18
会場整備業務 競技数	—	16	19	13	18	10	20	15	13

## イベント開催までのスケジュール

第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」は長期にわたる計画や企画、設計を経て開催されました。セレスポは、イベントの各段階において成功に向けたサポートをさせていただいております。また、すでに3年先、4年先の大会に向けて活動を始めております。

近年の国体開会式においては、開催の3年前の「基本計画」、2年前の「基本設計」、1年前の「実施設計」を経て開催年度の会場整備業務を行います。

※えひめ国体の基本計画は県にて作成、セレスポは基本設計からの参画となります。



愛媛新聞提供

### 基本計画

会場整備の方針の決定  
会場のゾーニングや動線の設計

### 基本設計

会場のゾーニングや動線に加え、  
具体的な施設(仮設物)の配置  
を計画

### 実施設計

仮設物の詳細な配置、備品のレイ  
アウト、電気・給排水等のインフラ  
計画、サインの詳細な計画作成

### 実施年度

会場整備業務の実施  
着工はおよそ7月の初旬  
全撤去完了が11月の下旬

## えひめ大会バリアフリー調査について

愛媛県の実行委員会が策定した、利用しやすい会場づくりと分かりやすい情報の提供を目的とした「バリアフリーの基本方針」を基に、開催の3年前から社員自らが各競技会場に足を運び、現地で車いすを利用して動線を確認しながら、手すり設置高の確認や観客席からの見え方

などの快適性に対する現地調査を行い「競技会場バリアフリー調査報告書」の作成にも協力しました。

今後もユニバーサルデザインに配慮した会場設計を、セレスポが関わる全てのイベントでも提案しながら、安全・安心・快適なイベントを追求してまいります。

## アクセシビリティへの対応力



### IPC公認 第28回日本パラ陸上競技選手権大会

2017年6月10日(土)、11日(日)に駒沢オリンピック公園総合運動陸上競技場(東京都世田谷区)にて、IPC公認 第28回日本パラ陸上競技選手権大会が開催されました。2日間で14種目が実施され観客席から聞こえる熱い声援と、大きな拍手が、大会を盛り上げました。

2020東京パラリンピックを3年後に控えた今大会には、開催史上最多となる約250名の選手が参加。アジア新記録4、日本新記録24、大会新記録54が誕生し、若手選手の躍進や自己ベストを更新した選手も多くみられました。大会当日は出場する選手のほかにも熱心に観戦する障がいのある方の姿もありました。セレスポは、パラアスリートが競技に集中し最大限の力を発揮できる会場づくりと、そのパフォーマンスに声援を送るファンや大会を支える関係者などの誰もが快適に大会を楽しめるためのサポートをさせていただきました。

セレスポは、ご協力させていただく全てのイベントに対して、障がいの有無、年齢、性別などに関わりなく、より多くの方が安全に安心して一緒にイベントを楽しんでいただくために、アク

セシビリティの向上を中心としたイベントのユニバーサル化に取り組んでおります。

※IPC…国際パラリンピック委員会(International Paralympic Committee)



#### BEYOND FES

パラスポーツ応援プロジェクト「TEAM BEYOND」の一貫であるBEYOND FES SHIBUYAに参加しました。セレスポは、パラ陸上の体験ブースと、公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU)と合同でパラトライアスロンブースを出展。今後もパラスポーツに接する機会の増加と、パラスポーツの魅力や迫力の発信にも取り組んでまいります。



### イベントのユニバーサル化 (車いす体験セミナー)

セレスポは、アクセシビリティの向上とインクルーシブな社会の実現に向けてイベントのユニバーサル化へ取り組んでいます。長年培ってきたノウハウに加えて、各分野の専門家と連携しイベントのあらゆる段階でハードとソフトの両面からサポートをしています。社員の知識レベルや技術を高めるため「車いす体験セミナー」も実施し、車いすユーザーでも楽しめるイベント会場設計、演出、サポート方法などを学びました。実際に体験しなければ得られない気づきに加えて、車いすユーザーでもある講師を交えて、直接意見やアドバイスをいただき知識と経験の向上を図っています。

### 教育を受けたスタッフによるサポート

来場者の小さな不安を少しでも解消し、安心して一緒にイベントを楽しんでいただくために、ベビーカーのお預かりや授乳室・おむつ交換所のご用意を行っています。そのほか障がいのある方などサポートが必要な方には、教育を受けたスタッフがイベント会場でのサポートを行っております。

#### 【お客さまの声】

- 車いすでも心配なく滞在できた
- ベビーカーが置ける場所などよかった
- 入場してからすぐに女性スタッフの方が声をかけてくださり、授乳室・おむつ替えスペースがあるのを知りました。案内もとても親切に対応してくれました。



### パラアスリートの声

東京パラリンピックに向け盛んになったパラスポーツ体験では、普段なかなかできないパラスポーツの面白さを老若男女問わず経験できます。私もセレスポさんのイベントをお手伝いさせていただきましたが、体験された皆さまの笑顔が印象的でした。それは体験したいと思うブースの雰囲気づくりの力だと思います。沢山の方にこの体験をしていただくことで、共生社会の実現に大きく寄与するものだと確信しています。

#### 永尾嘉章(ながおよしふみ)

(2018年7月1日現在)

- 穴織カーボン株式会社所属
- 日本人最多のパラリンピック7大会出場
- 車いす陸上選手T54クラス100m 200m の日本記録保持者
- 2004年アテネ大会では日本選手団主将を務め、4×400mリレーで銅メダルを獲得
- 現在は(一社)日本パラ陸上競技連盟で後進の育成を担っている



## 全国対応から、企業・地域イベントまで



### Belgian Beer Weekend 2017

2017年4月から9月にかけて全国8都市(名古屋・横浜・大阪・金沢・札幌・仙台・神戸・東京)にて、Belgian Beer Weekend 2017が開催されました。当初は東京のみで開催されていたイベントでしたが、日本国内でのベルギービールの広がりや人気の高まりとともに、今ではより多くの方にその魅力と本場ベルギーの文化を全国で伝えるイベントとなりました。会場では数多くのベルギービールはもちろん、ベルギーを代表するムール貝やポテトを使った料理なども販売し、ヨーロッパで活躍するアーティストによる演奏やこだわりの装飾でイベントを盛り上げました。最近ではベルギービールを扱うイベントも増えてきましたが、Belgian Beer Weekendはグラスリンサー(水圧洗浄機)や専用コインを使った販売方法などをいち早く取り入れ、雰囲気を大切にしながら安全管理や販売方法の工夫により、来場者だけでなく関係者の方々にも安心してイベントを楽しんでいただいております。セレスポは、全国にある拠点やネットワークを最大限に生かし、開催期間中全ての会場において同じレベルを維持しながらイベントをサポートし高い評価をいただきました。セレスポは、全28拠点を中心に47都道府県全てで開催されるさまざまなイベントに対応しております。

#### キャラバンスケジュール

名古屋	期間/4月26日(水)~5月7日(日) 会場/久屋大通公園 久屋広場・エンゼル広場
横浜	期間/5月18日(木)~21日(日) 会場/山下公園
大阪	期間/5月24日(水)~28日(日) 会場/新梅田シティ ワンダースクエア
金沢	期間/6月8日(木)~11日(日) 会場/いしかわ四高記念公園
札幌	期間/6月24日(土)~7月2日(日) 会場/大通公園 8丁目
仙台	期間/7月27日(木)~30日(日) 会場/勾当台公園
神戸	期間/8月30日(水)~9月3日(日) 会場/メリケンパーク
東京	期間/9月14日(木)~18日(月祝) 会場/六本木ヒルズアリーナ

### 企業運動会

企業運動会は社内におけるコミュニケーションやチームビルディングとしても注目を集めています。運動会の開催に向けて社内には実行委員会やプロジェクトチームを設ける企業もあり、その活動を通じて社員同士の闊達な意見交換や新たなリーダーの創出、企業の活性化や社員のモチベーションの向上にもつながります。社員の家族や取引先・協力企業なども招き、ほかのレクリエーションと組み合わせることでステークホルダーとの関係強化や信頼構築としても活用されています。さらに周年事業の一環として取り組む企業も多く、周年を記念したセレモニーなども伴った開催や自社の特長を踏まえた競技種目の実施などにより、経営理念や自社に対する理解と関心が深まり、帰属意識を高めることで新たな商品・サービス開発、離職率の低下につながります。セレスポは、ポータルサイト「運動会.com」を通じて、企業運動会に関する情報の提供とそれぞれの企業に合った運動会の開催を企画からサポートしております。



#### 企業運動会 受注件数の増加



### その他の企業イベント

企業では年間を通じて入社式、社員研修、株主総会、安全大会、創立記念式典、賀詞交歓会、各種表彰式、展示会への出展、会社説明会、レクリエーション、パーティー、その他セレモニーなどさまざまな行事やイベントが行われ、社員同士のコミュニケーションや社内の活性化、人材育成、商品・サービスの向上・開発、福利厚生などに活用されています。

セレスポは、お客さまご自身による企画や準備、会場の設営や当日の運営・進行、各種申請などに対する不安や社内のリソースが不足するなどの課題に対して、これまで培ってきた数々の実績やイベントのノウハウ、全国ネットワークを生かしてイベントのプロとしてお客さまと一緒に課題を発見・解決し、行事やイベントの成功に向けたサポートをしております。



# エシカルアプローチ

セレスポはイベントを起点としてサステナビリティに取り組んでいます。

イベントに求められる社会的な課題は年々増加・複雑化しており、私たちはイベントの総合制作会社として、イベントを通じて社会貢献と環境価値の創出に取り組んでいます。

## サステナビリティ方針

セレスポは、「イベントを通じて自らを含む周囲の幸福を実現し、笑顔のある明るい社会づくりに貢献する」ことを経営理念に掲げております。これを実現していくために、ステークホルダーとの信頼関係に基づく互恵関係を大切にしています。

私たちは、社会的・環境的・経済的にネガティブな影響を最小化する方法で組織運営およびイベント制作に取り組んでいきます。セレスポが持続的な成長を遂げるにより、長期的に見て社会的・環境的・経済的にポジティブな影響を拡大していきます。これにより、イベントに関する持続可能性の分野において、リーダーシップを発揮していくことを確約します。



### 3つの重点領域

	社会	環境	経済
社員	●教育・研修制度の充実 ●陸上部	●森林資源への配慮	●気持ちの良い職場づくり ●ダイバーシティへの取り組み
顧客	●ユニバーサルイベントの推進 ●情報管理の徹底	●資材活用への配慮 ●イベントの環境評価	●ISO20121に基づくマネジメントサポート
取引先	●安全・安心への取り組み向上	●エコ素材の調達	●良好な関係の維持・向上
株主			●コミュニケーション機会の充実 ●安定的な配当
社会	●スポーツ振興 ●地域活動への参加	●保有資材のリサイクル	●スポーツ振興 ●サステナビリティの普及振興

上記の考えに基づき、戦略上の目的および目標を設定しました。これに取り組む上で適切な法的およびその他の要求事項を受け入れ、組織運営およびイベント制作の全ての段階に対して継続的な改善に向けた努力をしていきます。

## ISO20121 認証取得

セレスポは、2016年11月に、全国26拠点の全てにおいて、イベントの持続可能性に関するマネジメントシステムの国際標準規格である「ISO20121」の認証を取得し、2017年に認証更新いたしました。(審査機関:SGSジャパン株式会社)

環境配慮、社会進歩、経済効果を統合させた組織運営体制を構築し、継続的に運用していくために要求されるこの国際標準規格を活用し、定期的な進捗管理と見直しを実施しながら、セレスポの幸福マンダラの「社会の幸福」で掲げている「サステナビリティの実践」「CSRとCSVの実現」に向けて、これからもイベントを通じた持続可能な社会の発展に貢献してまいります。



2016年12月13日(火) 認証授与式  
(写真中央:福業社長)

### ISO20121とは

ISO20121は、イベント産業における環境面、社会面、経済面への影響を配慮したマネジメントシステムを実証するための規格であり、オリンピックをはじめとする大規模な国際イベントから地域レベルのイベントまで、主催者・制作会社をはじめイベントに関わる全てのステークホルダーが活用できる規格です。

## エコプロ2017

セレスポのサステナビリティに関する活動内容を紹介するとともに、来場者との対話を目的に2016年度から環境・エネルギーの総合展示会「エコプロ」に出展しています。2017年度も来場者のサステナビリティに対する関心をクリスマスツリーを使って調査しました。「未来のために、あなたが取り組んでいきたいものは何でしょうか」という質問に対して、「森林資源」「水資源」「CO<sub>2</sub>」「エネルギー」「廃棄物」5つの項目から大切だと思う色のオーナメントを1つ選んで、サステナブルツリーに飾っていただきました。3日間で合計722個のオーナメントが装飾され、ツリーが完成しました。



## サステナブルイベント・セミナー

サステナビリティを、より多くの方に自分事として理解していただくために、セレスポでは定期的にサステナブルイベント・セミナーを開催しています。2017年度は公開イベントとして、外部から講師をお招きして「イベントとSDGs」「スポーツ×イベント×地域」などをテーマに、多くの方にご参加いただきました。サステナビリティやレガシーに取り組むためのヒントやきっかけづくりとともに、さまざまな分野の方との交流の機会として活用していただきました。今後も、さまざまなテーマや角度でセミナーを開催してまいります。



## その他、取り組み紹介

セレスポは、2015年度より3年連続で「東京都スポーツ推進企業」に認定されました。また、2017年度に新設された社員の健康増進のために積極的な取り組みや社会貢献活動を行っている企業である「スポーツエールカンパニー」にも選定されております。その他にも「豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業」2期連続で認定されており、会社の持続的な成長を担う「社員」の健康の維持と増進やワーク・ライフ・バランスに取り組んでいます。

### 陸上部

セレスポ陸上部は2013年に設立されました。国が推進するスポーツ振興の取り組みに賛同し、陸上競技において今後の大きな可能性を秘めた陸上選手の育成・強化と夢の実現を応援することを目的としています。所属選手は日々、トレーニングと競技大会への出場、セレスポでの業務に励むとともに、子どもたちへのスポーツ普及活動などを通して、笑顔のある明るい社会づくりに貢献しています。



中村真悠子選手  
種目 3000mSC(障害)、1500m、800m



藤沢沙也加選手  
種目 100m、200m、400m



選手による直接指導

# コーポレート・ガバナンスと内部統制

セレスポは、社会・株主・顧客・取引先・社員という全てのステークホルダーに、自分たちから幸福につながるメリットを提供して、その自然な見返りを期待することで幸福の連鎖を作るといふ、経営理念「セレスポの幸福」に基づき、ステークホルダーの皆さまから支援していただけるよう、コーポレート・ガバナンスの充実・強化に取り組んでいます。

## コーポレート・ガバナンス体制

取締役会は社外取締役1名を含む8名で構成し、月1回以上開催、経営上の重要事項に関する決議、企業経営の透明性・公平性を確保したうえで、迅速かつ機動的な意思決定を行っています。さらに、取締役会に準ずる機関として、代表取締役・担当取締役で構成される経営会議を月1回開催しています。また、執行を徹底するために、代表取締役・担当取締役・監査役および本社各部門ならびに各部署の

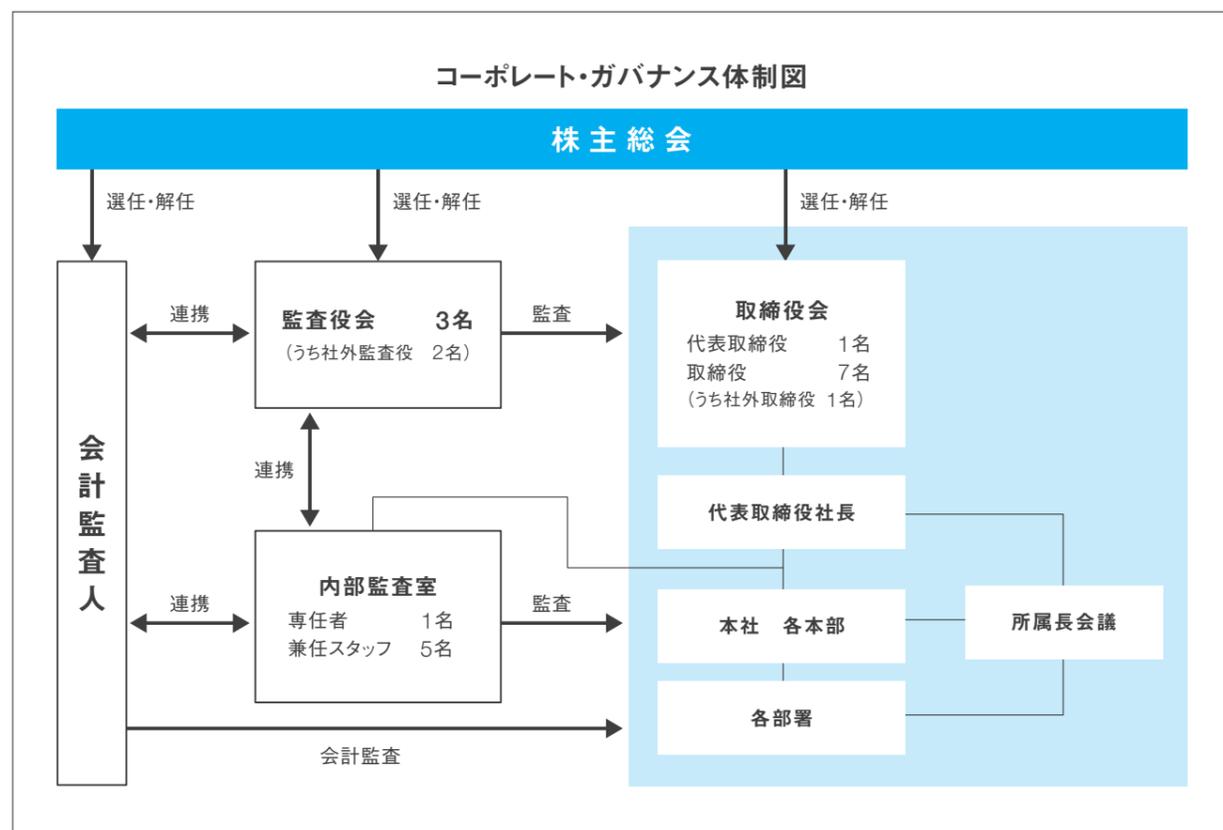
責任者で構成される所属長会議を月1回開催し、各部門の業務執行状況の管理、部門間での情報共有ならびに相互チェックを実施しています。

監査役会は、社外監査役2名を含む3名で構成し、月1回以上開催、監査役会で定めた監査方針に基づき、取締役の業務執行の監督を実施するほか、重要な社内会議での意見陳述などを行っています。

## 内部統制システムの強化

セレスポは会社法に基づき「内部統制システム構築に関する基本方針」を定めており、セレスポ取締役会はその整備状況を確認・検証し、必要に応じて見直しを行っています。

また、内部統制に関する組織や機能を統括するための内部統制委員会を設置し、内部統制システムの強化に努めています。



## 取締役



**稲葉 利彦** 1954年3月15日生  
1976年 4月 株式会社伊勢丹入社  
2001年 2月 天津伊勢丹社長就任  
2007年 5月 当社入社(顧問)  
2008年 4月 代表取締役社長  
2012年 4月 代表取締役社長 兼 総括本部長(現任)



**田代 剛** 1964年6月18日生  
1983年 4月 当社入社  
2007年 6月 取締役営業本部長  
2012年 4月 取締役統括本部 副本部長 兼 営業本部長  
2012年 6月 常務取締役統括本部 副本部長 兼 営業本部長  
2015年 6月 専務取締役統括本部 副本部長 兼 事業本部長(現任)



**岡本 敦哉** 1958年2月18日生  
1981年 4月 三菱商事株式会社入社  
1990年 4月 株式会社伊勢丹入社  
2006年 8月 株式会社グッチグループ ジャパン入社  
2009年 7月 当社入社(管理本部長)  
2010年 6月 取締役管理本部長  
2012年 6月 常務取締役統括本部 副本部長 兼 管理本部長  
2015年 6月 専務取締役統括本部 副本部長 兼 コーポレート本部長(現任)



**鎌田 義次** 1963年4月24日生  
1982年 4月 株式会社東北佐川急便入社  
1995年 4月 当社入社  
2012年 6月 取締役営業本部 副本部長 兼 スポーツ事業部長  
2015年 6月 常務取締役事業本部 副本部長 兼 事業開発部管掌  
2017年 4月 常務取締役 事業本部 副本部長 兼 営業推進室開発案件管掌 スポーツ事業部管掌(現任)



**宮田 一哉** 1958年8月20日生  
1980年11月 当社入社  
2005年 7月 業務本部長  
2007年 6月 取締役生産本部長  
2012年 4月 取締役経営戦略室長  
2014年 4月 取締役社長室長(現任)



**堀貫 貴司** 1961年3月25日生  
1983年 4月 株式会社三菱銀行入行  
2013年 4月 当社入社 (執行役員経理部長)  
2014年 6月 取締役管理本部 副本部長 兼 経理部長  
2017年 4月 取締役コーポレート本部 副本部長  
2018年 4月 取締役事業本部 スポーツ事業部管掌(現任)



**生田 茂** 1963年11月11日生  
1982年 4月 蝶や入社  
1982年 8月 当社入社  
2011年 6月 執行役員東京支店長  
2013年 4月 執行役員事業本部 副本部長 兼 事業支援部長  
2015年 6月 取締役事業本部副本部長 兼 事業支援部長(現任)



**野末 正博** 1949年2月14日生 **社外**  
1971年 4月 株式会社日本興業銀行入行  
2000年 6月 株式会社日本興業銀行常任監査役就任  
2002年 6月 年金資金運用基金理事就任  
2006年 8月 株式会社ビジネスネット 代表取締役社長就任  
2008年 8月 取締役事業本部副本部長 監査役就任  
2012年 4月 財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 資金運用委員会委員就任(現任)  
2015年 4月 当社入社(顧問)  
2015年 6月 当社社外取締役就任(現任)  
2015年 9月 株式会社東京メガネ 特別顧問就任(現任)  
2016年10月 学校法人関西大学資金運用委員会委員就任(現任)

## 監査役



**星野 俊司** 1951年1月10日生 **社外**  
1974年 4月 清水建設株式会社入社  
2011年 6月 当社入社(監査役)(現任)



**水越 潤** 1949年10月9日生  
1973年 4月 株式会社伊勢丹入社  
2007年 5月 当社入社(顧問)  
2007年 6月 常務取締役  
2008年 4月 常務取締役統括本部長  
2008年 6月 取締役副社長  
2010年 4月 顧問  
2013年 4月 内部監査室長  
2015年 6月 監査役(現任)



**奥田 かつ枝** 1963年12月28日生 **社外**  
1986年 4月 三菱信託銀行株式会社入社  
2000年11月 株式会社緒方不動産鑑定事務所 取締役(現任)  
2006年 4月 東京地方裁判所民事調停委員(現任)  
2009年 4月 学校法人明治大学専門職大学院グローバルビジネス研究科兼任講師(現任)  
2012年11月 イオン・リートマネジメント株式会社投資委員会外部委員(現任)  
2013年 6月 公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会 常務理事(現任)  
2017年11月 株式会社九段緒方ホールディングス代表取締役(現任)  
株式会社九段都市鑑定取締役(現任)  
2018年 6月 当社監査役就任(現任)

# 決算ハイライト

## 社外取締役メッセージ

### 中期経営計画の達成へ、 総力を結集しさらなる成長の実現を

社外取締役 野末 正博

#### 中期経営計画達成のために 社外取締役として果たすべき役割

セレスポは、順調な業績と株主還元等の経営の努力により、株主数が増加しています。また、これは、中期経営計画に基づくサービスの多様化、業務提携の推進、新規顧客の開発等によるイベント・ソリューション・パートナーへの取り組みと、業務プロセスの見直し、基幹システムの刷新、働き方改革等の業務基盤の強化を進めていることへの株主の皆さまからの評価であるとも捉えています。

そのような中、私は社外取締役として株主の皆さまの期待に応えるべく、全ての取締役会に出席して発言するようにしています。審議は充分か、審議に必要な十分な資料か、その資料を読み解いた場合に何を確認することが重要か、関係する執行役員や取締役の意見はどうか、資料はファクトを押さえているか、比較考量が可能な場合の情報が入っているか等に留意しながら、提言を行っています。また、事前審議機関と位置付けられる経営会議、現場のトップの情報交換、研修の場となっている所属長会議にも出席しています。

コーポレートガバナンス・コードの各項目、ステュワードシップ・コードの考えをよく理解し、長期ビジョン、中期経営計画を着実に達成していけるよう、各年度の業務執行やリスク管理を監督・アドバイスする等のサポートに努めていきたいと思っております。

#### ゴールデン・スポーツ・イヤーに向けた コーポレート・ガバナンスの向上

近年は、人手不足を予想しながらゴールデン・スポーツ・イヤーへの特需に対応するために、協力会社との安全・安心共同作業体制の構築、ISO20121の認証取得、プロセスの可視化、基幹システムの刷新等、ネットワーク強化と品質管理の向上に取り組んできました。

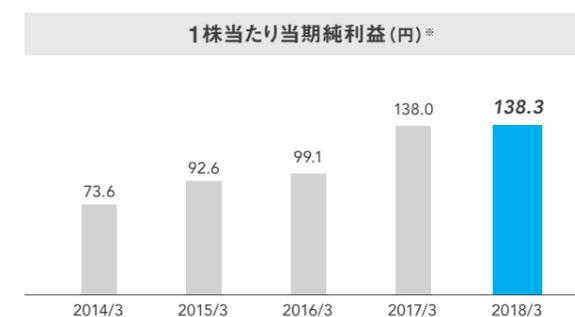
オリンピック・パラリンピックに関連する仕事は、サステナビリティの観点でもニーズが変容してきています。昨日まで機能していたプロセスが明日の課題に対応できるものではないと考えるべきだと思います。取締役会の原点に立ってコーポレート・ガバナンスを点検・整備し、リスク管理と危機対応を適切に行っていくことで信用力を高め、成長していくことを期待しています。

企業運営の基本は、誰でも仕事ができる仕組みを作り、環境変化や規制変更に対応していくことだと考えています。また、堅実に実績を積み上げてステークホルダーとの約束を守っていくためには、執行と監督、監督と監査・内部監査・会計監査人・システム管理者等の内外関係者のチームワークが必要です。専門性が高まり技術が進歩する中、関係者の力を合理的に活用する体制を築き、事業を継続的に成長させるコーポレート・ガバナンスの向上へ、不断の努力を望みます。

#### 東京オリンピック・パラリンピックに続く 新しい時代の開拓に向けて

稲葉社長は、就任直後よりリーマンショックや東日本大震災等の困難に遭遇しながらも、事業ビジョンを明確にし、社会構造の大転換が予測される時代に向かって経営の舵をとり、ここまで企業変革を指揮してきました。また、力を合わせて成果に結びつけてきた役員や社員、協力会社の皆さんの努力にも敬意を持っています。

この10年の実績を踏まえ東京オリンピック・パラリンピックに続く新しい時代の開拓に向けて、役員、社員、協力会社の潜在力を引き出し、総力を結集してさらなる成長を実現していけるよう、私自身も社外取締役としての役割を果たしていきたいと思っております。



\*2016年10月1日付で2株を1株に併合しているため、各事業年度の期初に併合したものととして算出

# 会社情報

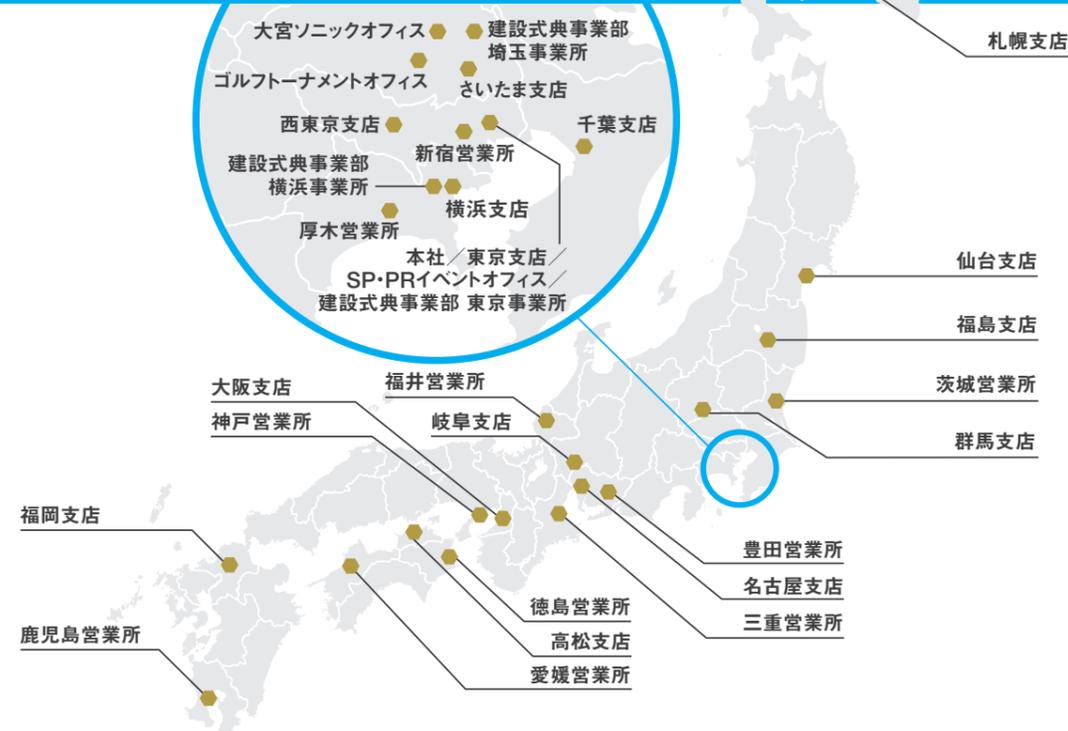
## 会社概要 (2018年4月1日現在)

商号	株式会社セレスポ 英文社名:CERESPO CO.,LTD.
証券コード	9625
本社	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5 TEL:03(5974)1111/FAX:03(5394)7651
設立年月日	1977年7月21日
資本金	13億7,067万円
事業内容	1 イベント、プロモーション、スポーツ大会、式典、レクリエーションの企画、制作、会場設営、運営および進行 2 上記に関わる物品・什器備品の企画、開発、製造、販売およびレンタル 3 土木ならびに建築の設計監理および施工 4 警備業 5 特定人材派遣業(平成30年6月21日定款より削除) 6 上記に附帯する一切の業務
登録・許可	建設業許可:東京都知事 許可(特)第140322号 一級建築士事務所:東京都知事登録 第42544号 警備業認定:東京都公安委員会 第30003046号 屋外広告業登録:東京都屋外広告業登録 都広(1)第1137号 プライバシーマーク:第17000187号 ISO20121認証取得
正社員数	375名

## 役員一覧 (2018年6月21日現在)

代表取締役社長	稲葉 利彦
専務取締役	田代 剛
専務取締役	岡本 敦哉
常務取締役	鎌田 義次
取締役	宮田 一哉
取締役	堀貴 貴司
取締役	生田 茂
社外取締役	野末 正博
常勤社外監査役	星野 俊司
監査役	水越 潤
社外監査役	奥田 かつ枝

## 拠点所在地 (2018年4月1日現在)



## 株式情報 (2018年3月31日現在)

株式の状況		
発行可能株式総数		11,000,000株
発行済株式総数		2,851,750株
株主数		1,271名
大株主		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社スマイル	550,000	20.07
セレスポ従業員持株会	274,850	10.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	249,100	9.09
三木 征一郎	77,862	2.84
東海東京証券株式会社	57,900	2.11
稲葉 利彦	50,000	1.82
衣笠 純	47,300	1.73
北原 美子	47,300	1.73
株式会社三菱東京UFJ銀行	27,500	1.00
水越 潤	27,000	0.99

(注) 1.当社は、自己株式を111,502株保有しておりますが、上記株主からは除外しております。 2.持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

## 営業拠点一覧 (2018年4月1日現在)

本社	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5	Tel: 03-5974-1111
建設式典事業部 東京事業所	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5	Tel: 03-5974-1122
建設式典事業部 埼玉事業所	〒339-0078 埼玉県さいたま市岩槻区大字掛563-1	Tel: 048-758-3722
建設式典事業部 横浜事業所	〒222-0002 神奈川県横浜市港北区師岡町972	Tel: 045-533-5111
札幌支店	〒003-0809 北海道札幌市白石区菊水9条3丁目5-13	Tel: 011-821-1810
仙台支店	〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町1-3-17	Tel: 022-782-0161
福島支店	〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字勝木沢23-1	Tel: 024-935-2233
茨城営業所	〒310-0803 茨城県水戸市城南1-2-43 水戸NKビル402号	Tel: 029-302-7577
群馬支店	〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1073-36	Tel: 027-265-4211
大宮ソニックオフィス	〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 大宮ソニックシティB1F	Tel: 048-647-4112
さいたま支店	〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤7-1-1 大黒屋オフィスビル4F	Tel: 048-825-3271
ゴルフトーナメントオフィス	〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井578-1	Tel: 049-259-2631
千葉支店	〒264-0017 千葉県千葉市若葉区加曾利町852-2	Tel: 043-214-8448
東京支店	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-20-7 末広ビル3F	Tel: 03-5974-5555
新宿営業所	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-2-5 新宿ウエストビル3階	Tel: 03-5937-3601
SP・PRイベントオフィス	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-20-7 末広ビル3F	Tel: 03-5974-1190
西東京支店	〒186-0012 東京都国立市泉1-4-4	Tel: 042-574-3020
横浜支店	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-2-6 VORT新横浜9F	Tel: 045-473-2555
厚木営業所	〒243-0032 神奈川県厚木市恩名1-6-59 OMビル4-A	Tel: 046-222-3551
福井営業所	〒910-0858 福井県福井市手寄1-9-7 信用ビル1F	Tel: 0776-26-8881
岐阜支店	〒500-8268 岐阜県岐阜市茜部菱野2-2服部第2ビル 2F南	Tel: 058-274-4112
名古屋支店	〒463-0034 愛知県名古屋市中区四軒家2-303	Tel: 052-771-7510
豊田営業所	〒471-0868 愛知県豊田市神田町1丁目1-1西山地産ビル6F	Tel: 0565-37-3558
三重営業所	〒514-0032 三重県津市中央2-4 三重ビル401号	Tel: 059-213-8150
大阪支店	〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4-12-12ニッセイ心斎橋ウエストビル7F	Tel: 06-6258-0050
神戸営業所	〒650-0036 兵庫県神戸市中央区播磨町49 神戸旧居留地平和ビル9F	Tel: 078-335-2711
高松支店	〒761-0450 香川県高松市三谷町5076-2	Tel: 087-888-1009
徳島営業所	〒770-0867 徳島県徳島市新南福島1-4-6 1F	Tel: 088-676-3560
愛媛営業所	〒791-8031 愛媛県松山市北斎院町637-6 セーラー広告(株)愛媛本社 内	Tel: 089-915-5570
福岡支店	〒813-0035 福岡県福岡市東区松崎2-24-12	Tel: 092-663-5550
鹿児島営業所	〒892-0817 鹿児島県鹿児島市小川町10-16 エクステンド小川町201号	Tel: 099-216-6094